

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		盛岡彫刻シンポジウム共催事業			事業コード	2396
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課		担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	菊池 郁	電話番号	3742

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 20年度～)					
事務事業の概要	彫刻のある街と市民文化の推進のため、彫刻作品展やワークショップ、フィールドイベントを実施する。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
彫刻シンポジウムは1975年に岩手大学キャンパスの制作展として開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
野外彫刻が多く設置されることで、街中で自然に彫刻に触れ合えるまちづくりに貢献している。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
開催回数が35回を数え、市民にも定着している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市民	単位	万人
				B. 観光客入込数	単位	万人回
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 企画展、ワークショップ、フィールドイベント 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 企画展、ワークショップ、フィールドイベント	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 作品数	単位	点
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民・観光客に彫刻に親しんでもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	万人回
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市民	万人	30	30	30	30	30	30	27年度 30
対象 指標B	観光客入込数	万人回	472	459	466	444	472	478	29年度 490
対象 指標C									年度
活動 指標A	作品数	点	25	30	30	30	30	30	27年度 30
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	観光客入込数	万人回	132	459	466	444	472	478	29年度 490
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	171	200	200	200	150	150	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	171	200	200	200	150	150	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	171	200	200	200	150	150	*****
	延べ業務時間数	時間	20	20	20	10	10	10	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	80	80	80	40	40	40	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	251	280	280	240	190	190	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	<p>① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 彫刻のある街を目指すことは、美術・工芸をいかした特徴のあるまちづくりになり、観光客の誘致につながる。
	<p>② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 特徴あるまちづくりのための文化活動への支援は、市が行うべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	<p>③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市民と観光客を対象としており、妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	<p>④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 彫刻に親しんでもらうことにより、成果の向上を目指すものである。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	<p>⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 効果的な周知・宣伝により成果が向上する余地がある。
	<p>⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？</p>	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 本事業により、彫刻があるまちという特徴的なまちづくりをすすめることができ、廃止・休止は施策の成果に影響がある。
	<p>⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？</p>	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	<p>⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？</p>	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 協賛金を募ることにより、市の負担金を減額する余地がある。
	<p>⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事務手続のための業務時間数であり、削減できない。
公平性評価	<p>⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市民・観光客が公平に受益している。
	<p>⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市民・観光客の費用負担はない。

